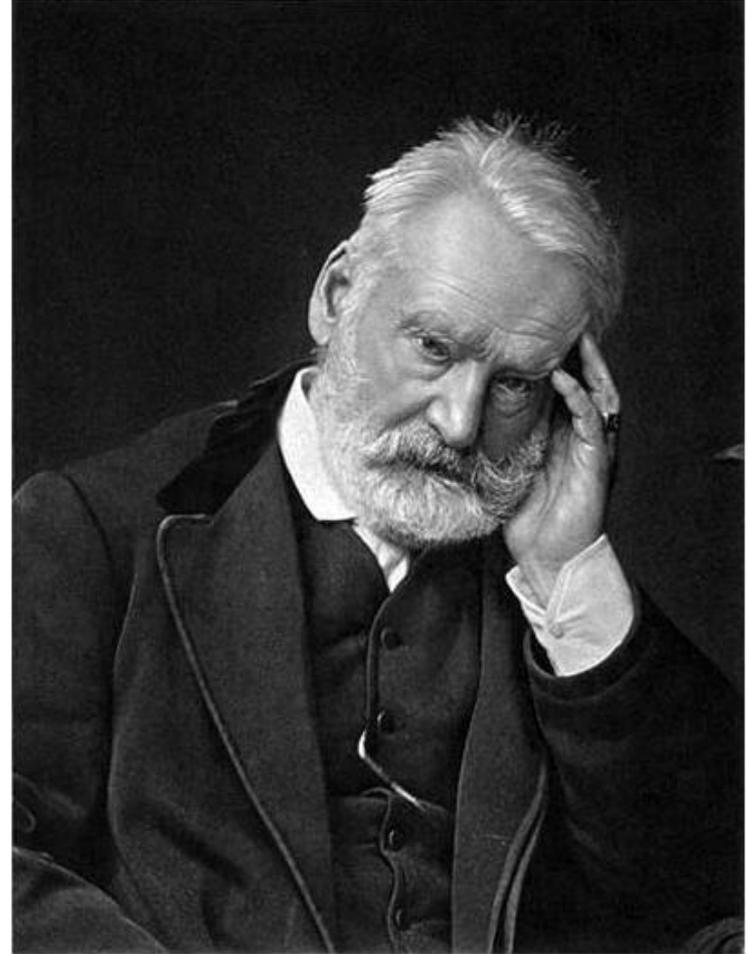


文学の中のパリ:『ノートル＝ダム・ド・パリ』 —ユゴーとパリ(2)—



Jean Béraud, *Boulevard des Capucines*, Collection privée

ヴィクトル・ユゴー
(Hugo, 1802—85)



ヴィクトル・ユゴー (Hugo, 1802—85)

・ブザンソンに生まれる
ナポレオン軍の将校レオポルド・ユゴー
王党派の女性ソフィー・トレビュツシエ
・1809年母とともにパリに移り、
フィヤンティーヌ通り (rue des
Feuillantines) に住み始める
処女詩集『オードと雑詠集』(1822)
の出版で詩人としてデビュー
『静観詩集』その他の著名な詩の
なかでうたわれるフィヤンティーヌ



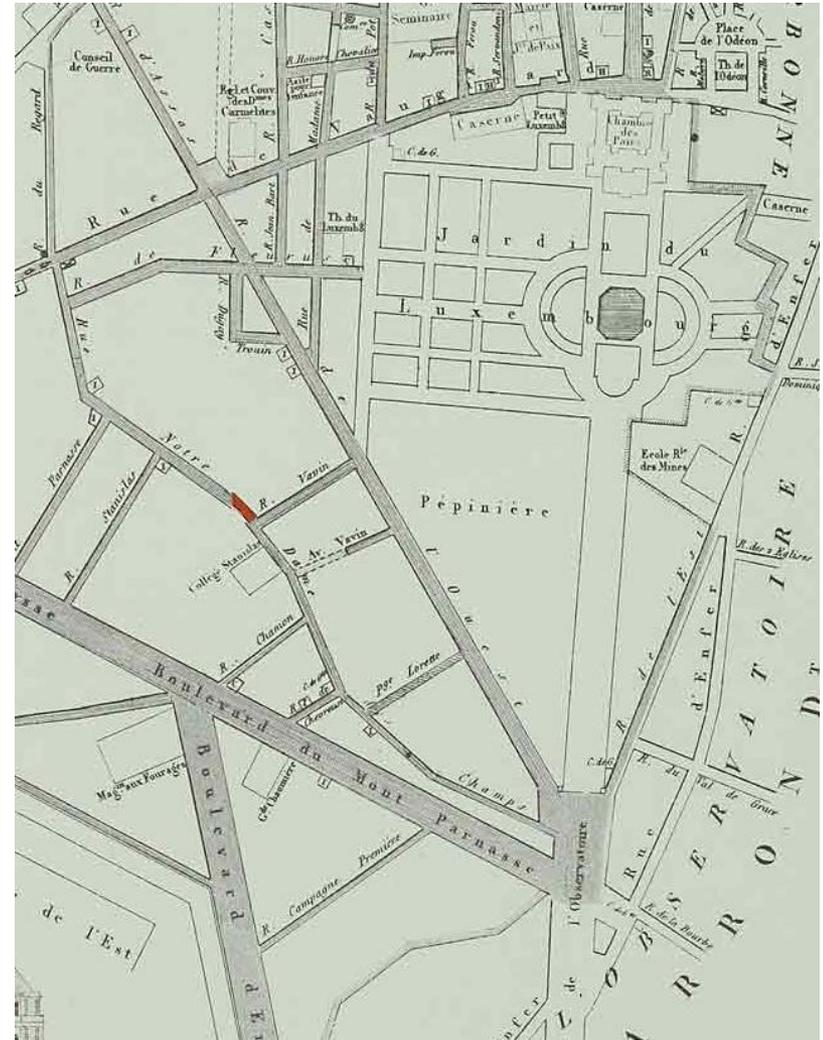
フイヤンティーヌ通り (Rue des Feuillantines)



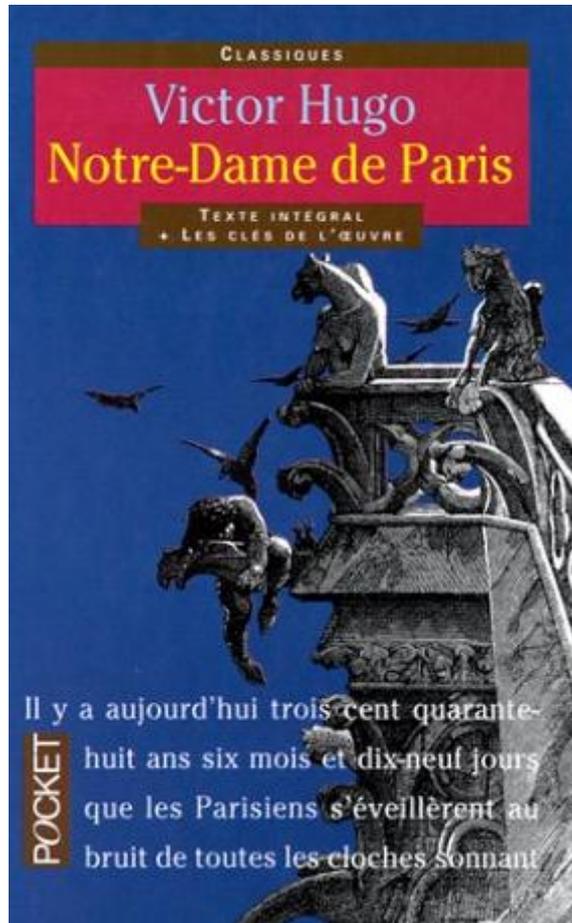
ノートル＝ダム＝デ＝シャン通りとセ ナークルの時代 (Rue Notre-Dame- des-Champs et le *Cénacle*)



11 rue Notre-Dame-des-Champs par Champin
Musée Victor Hugo © Photothèque des musées de la ville de Paris



『ノートル＝ダム＝ダム・ド・パリ』(1831)



ローラン・プティ (Roland Petit, 1924-2011)

『若者と死』(1946)、『ノートル＝ダム・ド・パリ』(1965)



Photo: 森口ミツル

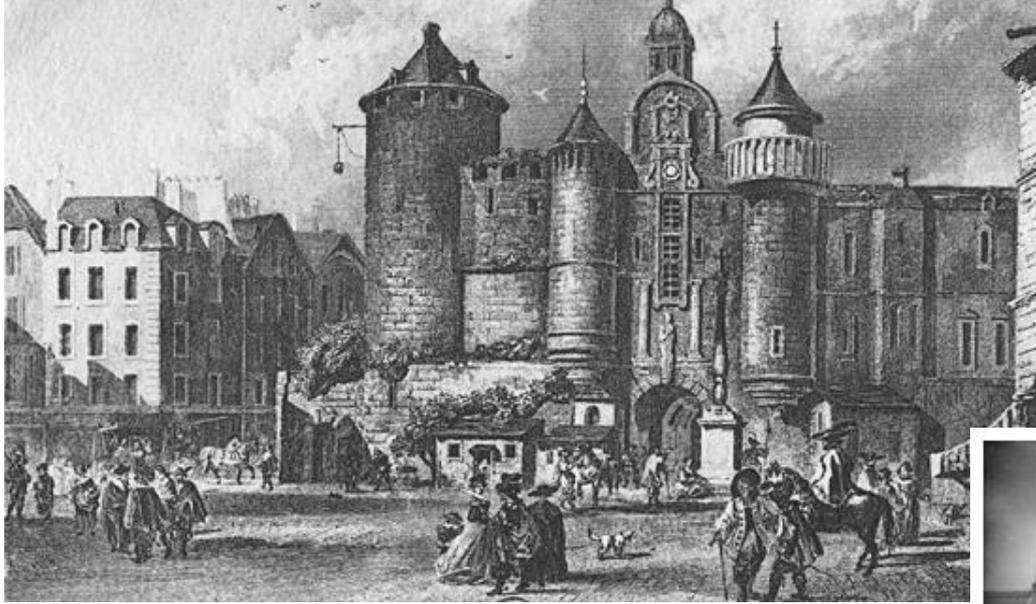
『ノートルダム・ド・パリ』



Photo: 森口ミツル

『ノートルダム・ド・パリ』

ナポレオンの都市整備



シャトレの城塞



シャトレ広場

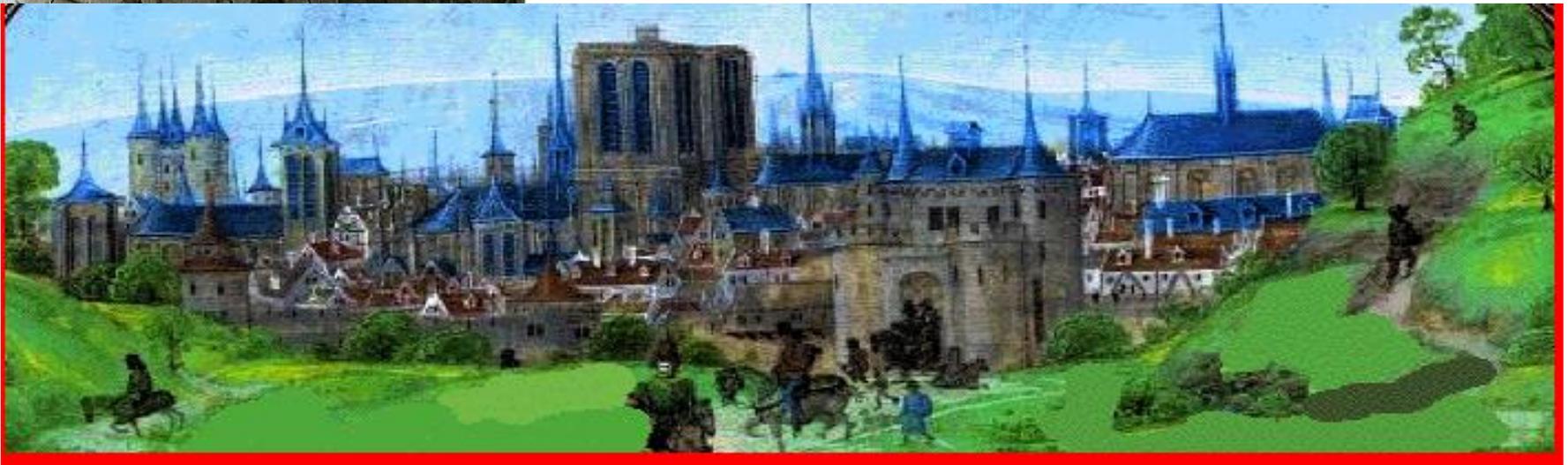
Paris du Moyen-Âge 1



Paris du Moyen-Âge 2



Paris du Moyen-Âge 3



Jean-Claude Berton, *50 romans clés de la littérature française*, Hatier, 1981, pp.59-60.

[12世紀に建造された大聖堂という現実の建築の文学への転換、小説化の試み]ユゴーはルイ11世統治下の中世の絵になる美しさと叙情性 (le pittoresque et le lyrisme) を言葉で表現しようとする。その中心にはノートル＝ダムがある。(歴史的正確さではなく)この作品の長所は、彼自身「想像、気まま、奇抜さ」にあるとしている。躍動するアクションにより生き生きとしたものとなっている描写、登場人物の象徴性、人道主義的な主張など、この特異な精神の持ち主のヴィジョンから生まれたもの。それがこの突拍子もない題材を言葉とイマージュの嵐の中に運ぶ。

レ・ミゼラブル (1862)

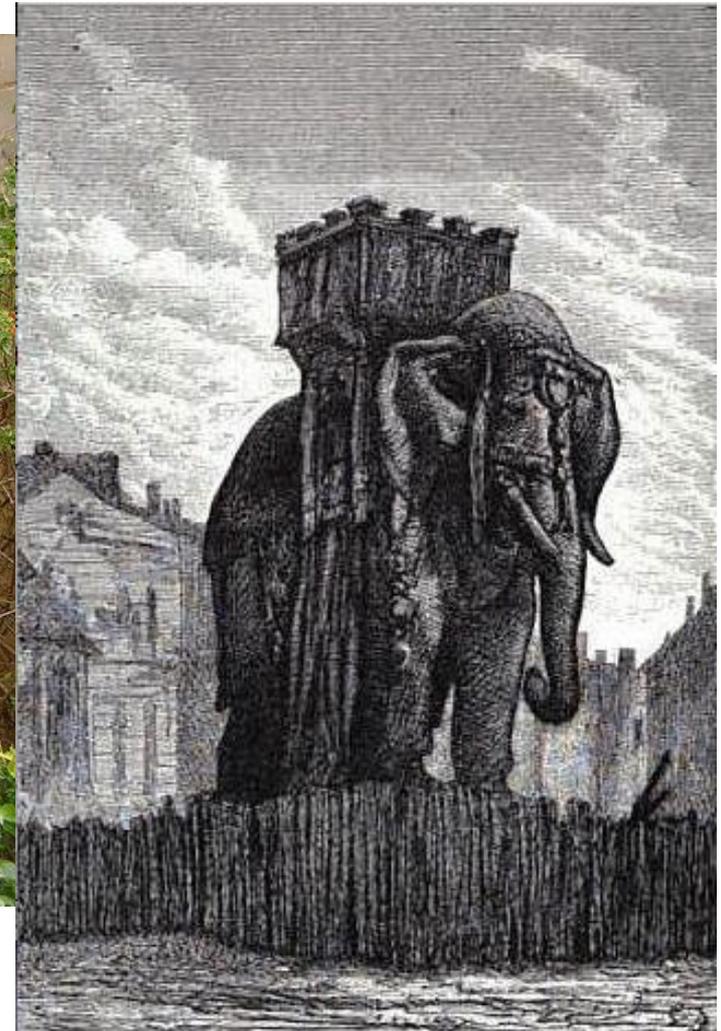


Rue de Vaugirard



Omnibus à deux chevaux dans la rue de Vaugirard à Paris

Gavroche et ses frères Éléphant de la Bastille



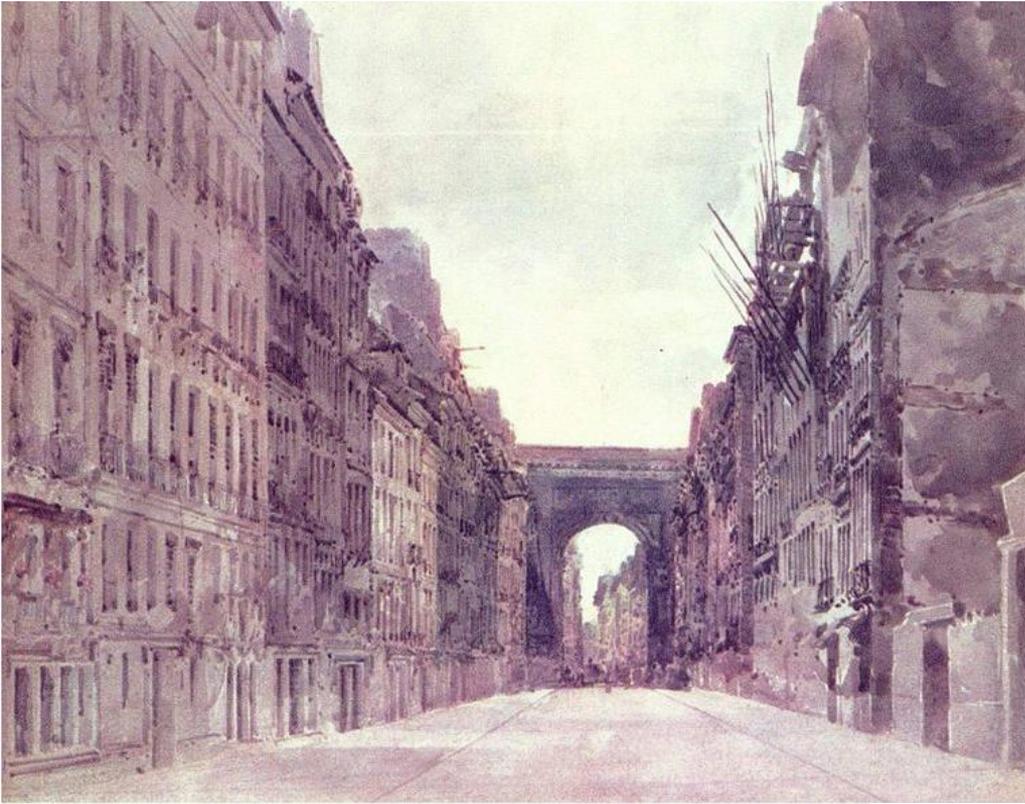
Jean-Maximilien Lamarque (1770-1832)



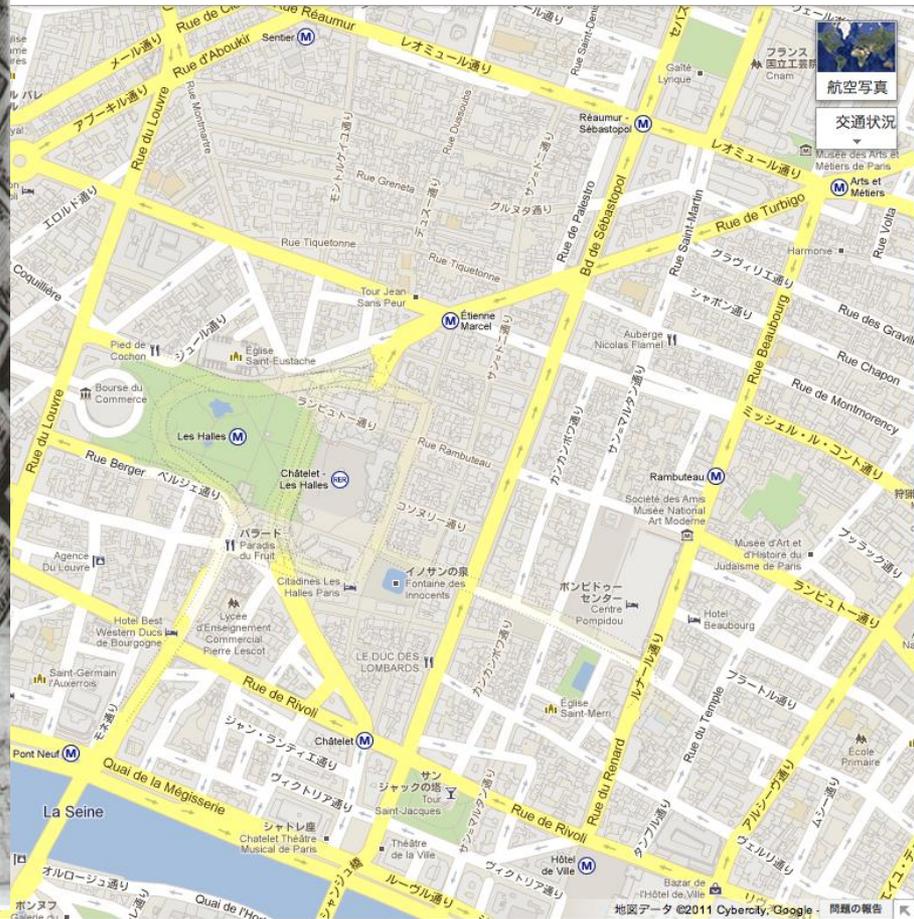
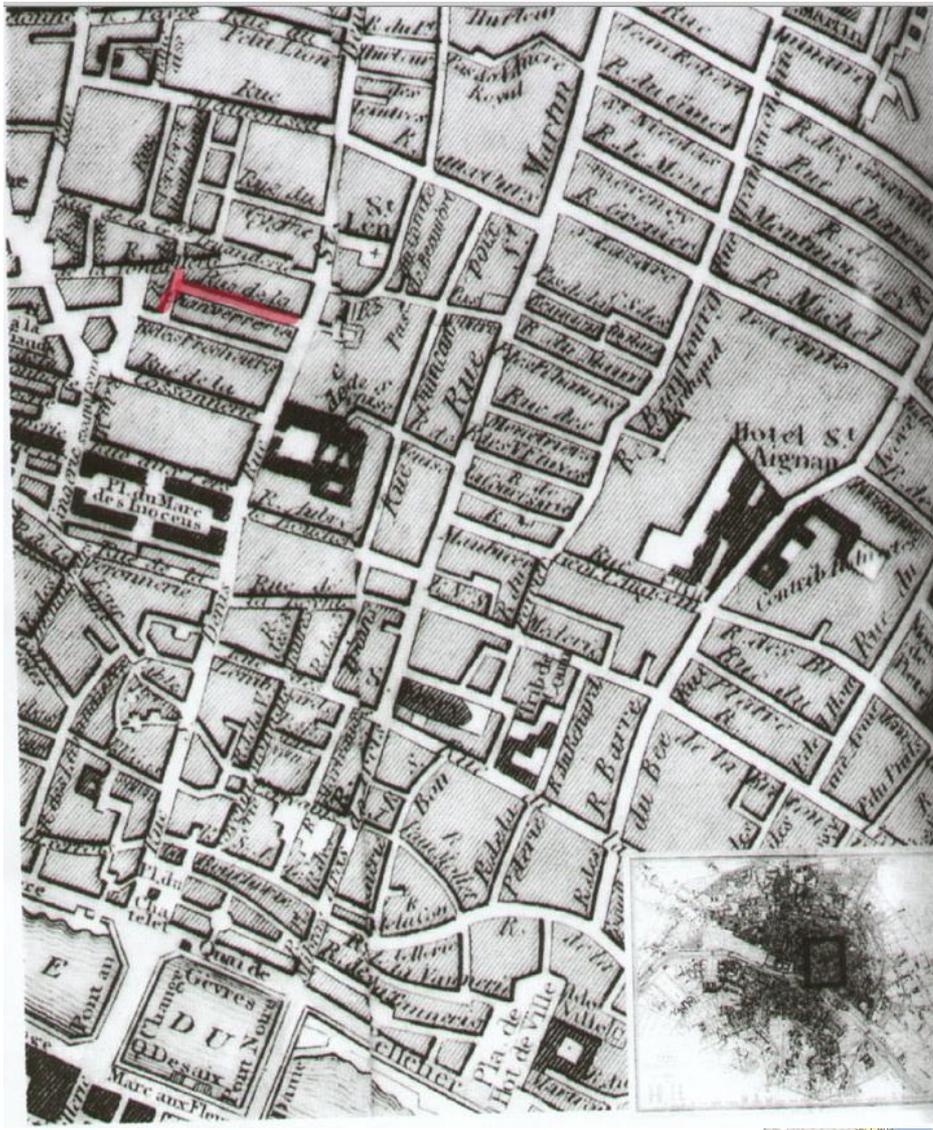
« La Liberté guidant le peuple » (1830) de Delacroix : le personnage de Gavroche



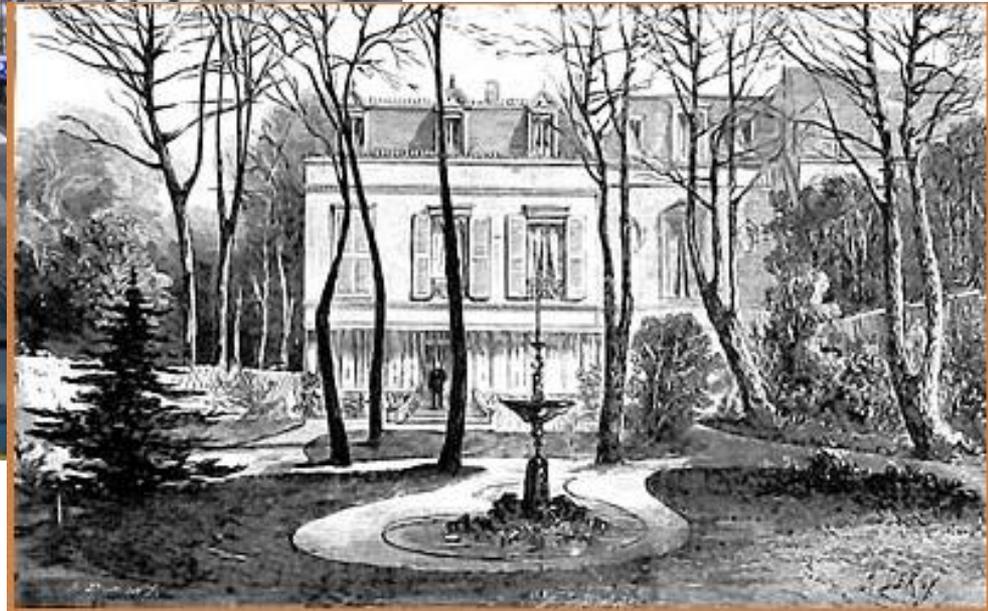
Rue Rambuteau et Rue Saint-Denis



rue de la Chanvrerie / rue Rambuteau



晩年とヴィクトル・ユゴー大通り (Avenue Victor Hugo)



La maison de Victor Hugo, avenue d'Eylau, *L'illustration*, 26 février 1881. Musée Victor Hugo
© Photothèque des musées de la ville de Paris